

令和6年度水稲作柄判定試験結果（第5回）

令和6年8月22日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部 水田農業グループ

1. 水田農業グループ（宇佐市、平坦地）における生育概況

「つや姫」の出穂期は8月14日であり、平年並であった。

「なつほのか」の出穂期は8月18日であり、平年より3日早かった。

「ヒノヒカリ」の草丈は平年より高く、茎数はやや多かった。葉齢は平年並であり、葉色はやや濃かった。

| 品種 | 年次 | 8月20日時点の生育 | | | |
|-------|-------|------------|--------------------------|------|---------------|
| | | 草丈 (cm) | 茎数 (/m ²) | 葉齢 | 葉色 (SPAD値) |
| | 本年 | 104.0 | 382 | 13.8 | 38.1 |
| ヒノヒカリ | 前年差・比 | 118 | 98 | +0.3 | +1.7 |
| | 平年差・比 | 111 | 102 | +0.2 | +1.7 |

差・比の値は、符号がついているものは差、ついていないものは比を示す。

2. 気象概況／8月1～3半旬

観測値：水田農業グループ（宇佐市）、標高30m

1) 気温 【期間中の本年値：29.7℃ 平年値：28.0℃ 平年差：+1.7℃】

期間を通じて平均気温は平年より高く、特に最低気温は高かった。

2) 降水量 【期間中の本年値：0mm 平年値：71mm 平年比0】

期間を通じて降雨はなかった。

3) 日照時間 【期間中の本年値：157h 平年値：110h 平年比142】

期間を通じて平年よりかなり長かった。

3. 栽培上の留意点

1) 水管理

穂ばらみ期から出穂・開花期にかけて水分要求量が高まるため、水を切らさないように 3～5 cm の湛水状態を保つ。根の活力維持や登熟促進のために、収穫直前までは間断かん水が続ける。早期落水は粒張りを低下させるので避ける。

台風接近が予想される場合は、稲体の損傷や脱水を軽減するために、畦畔崩壊のおそれがない場合に限って深水湛水する。

2) 病虫害防除

8 月 2 日に斑点米カメムシ類について注意報が発表された。出穂期やカメムシ類の発生状況を把握し、適期防除を行う。斑点米カメムシ類の対策として、出穂の 2 週間前までの圃場周辺の除草も有効である。

その他病虫害については、大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 病虫害対策チーム (<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/>) が公表している発生予察情報を参考とする。

4. 試験方法

1) 供試品種

「つや姫」、「なつほのか」、「ヒノヒカリ」

2) 移植日

6 月 20 日

3) 栽植密度

15.2 株/m² (条間 30 cm、株間 22 cm、1 株 4 本手植え)

4) 窒素施用量

「つや姫」基肥 - 追肥 = 4 - 2 kg/10a、

「ヒノヒカリ」「なつほのか」基肥 - 追肥 = 4 - 3 kg/10a

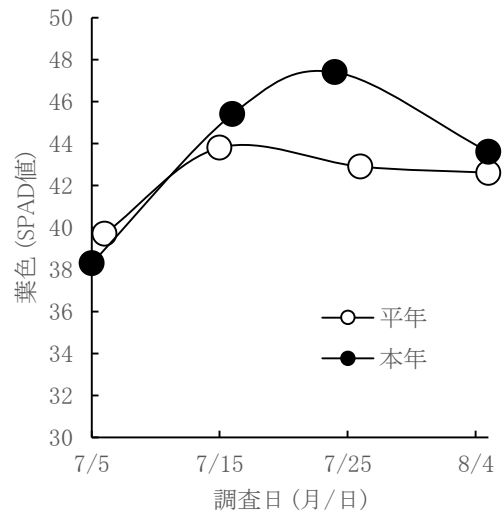
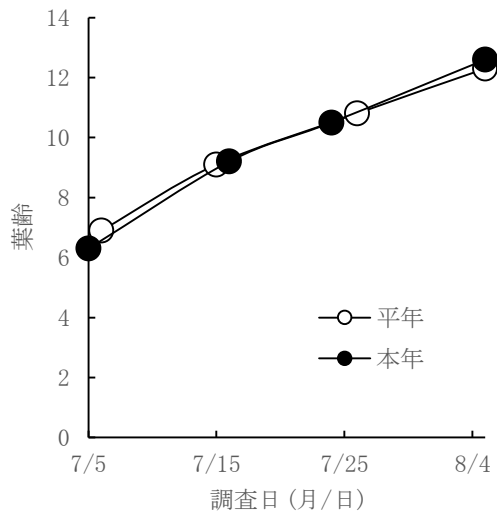
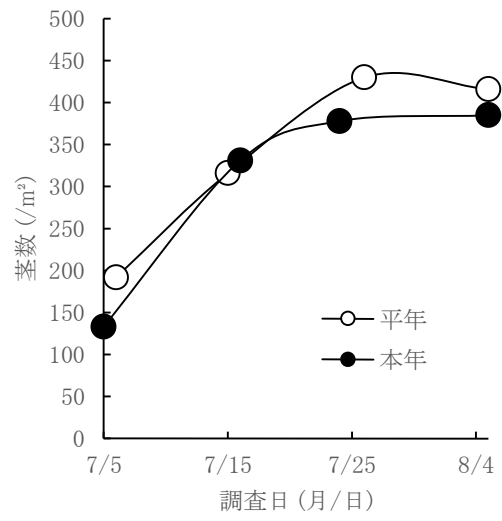
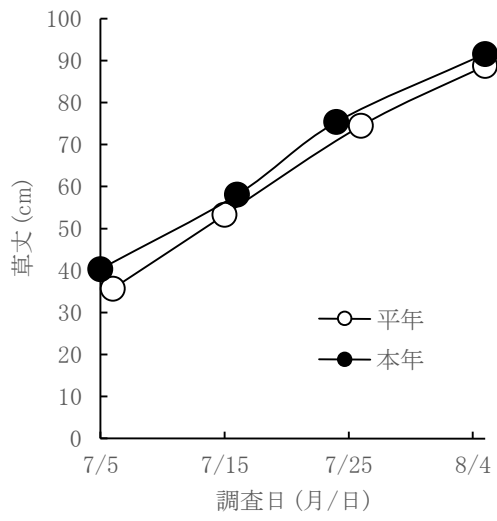
5) 平年値

「つや姫」「ヒノヒカリ」過去 4 カ年の平均値

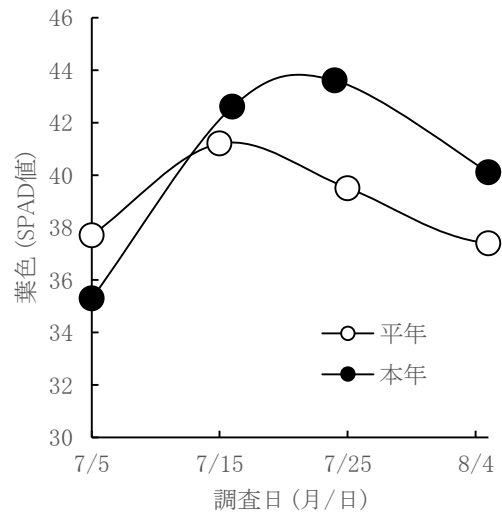
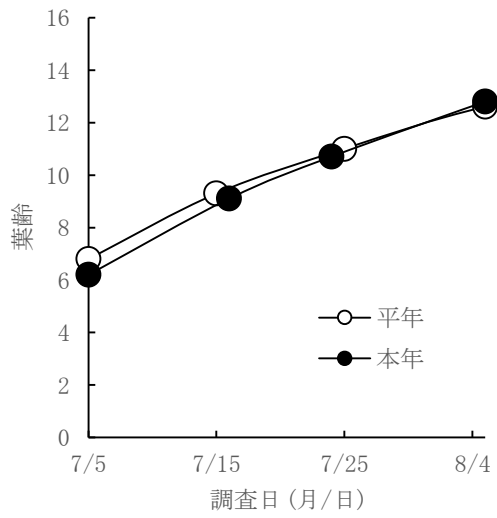
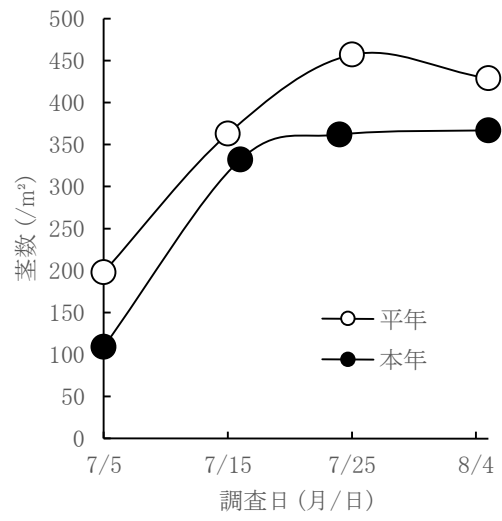
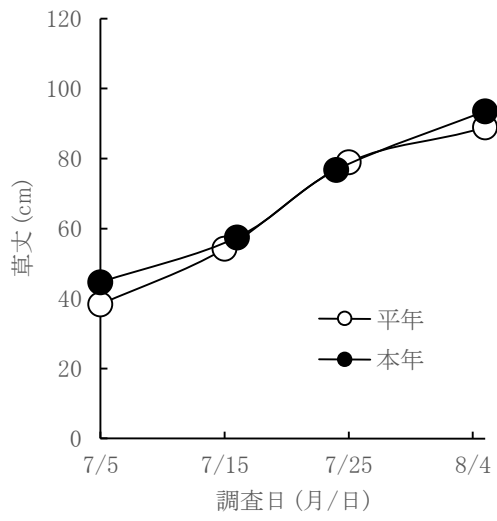
「なつほのか」過去 3 カ年の平均値

6) 調査基準日

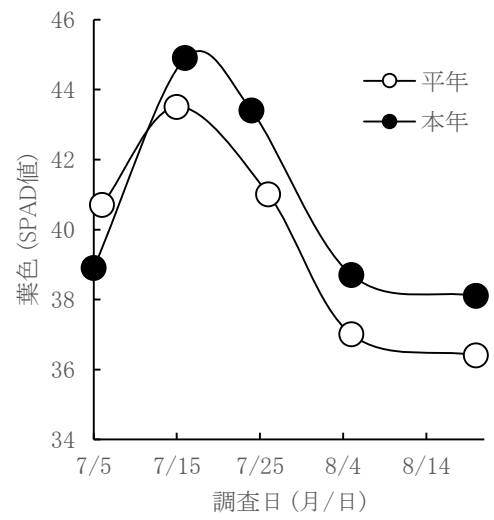
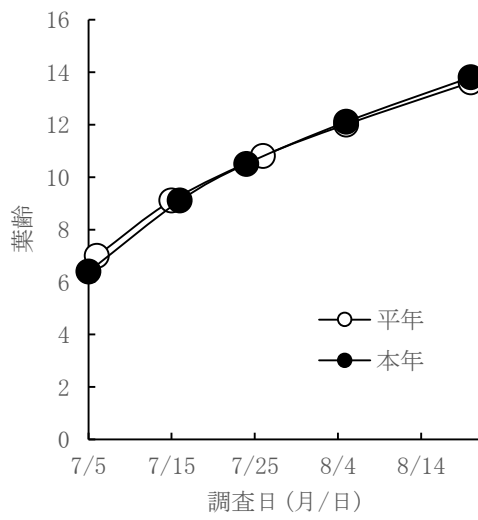
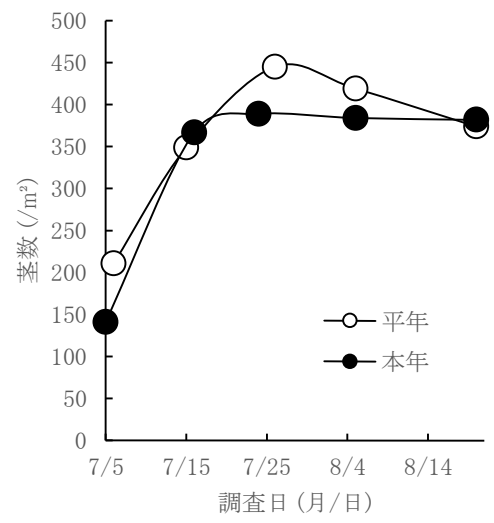
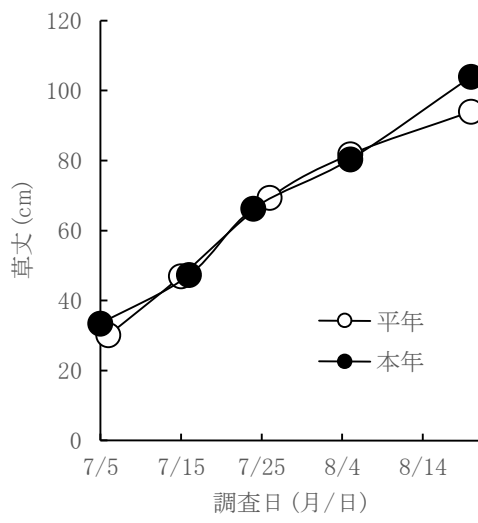
7 月 5 日、7 月 15 日、7 月 25 日、8 月 5 日、8 月 20 日、成熟期



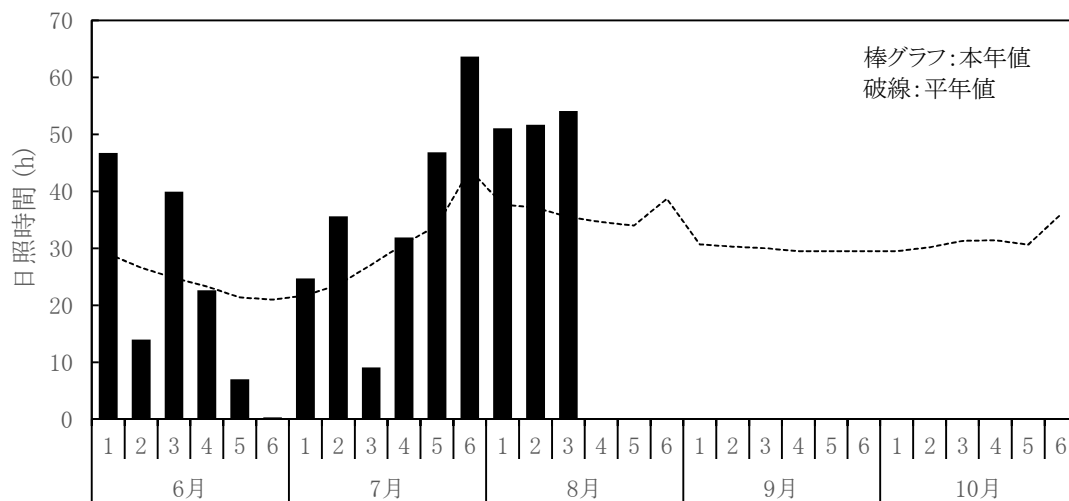
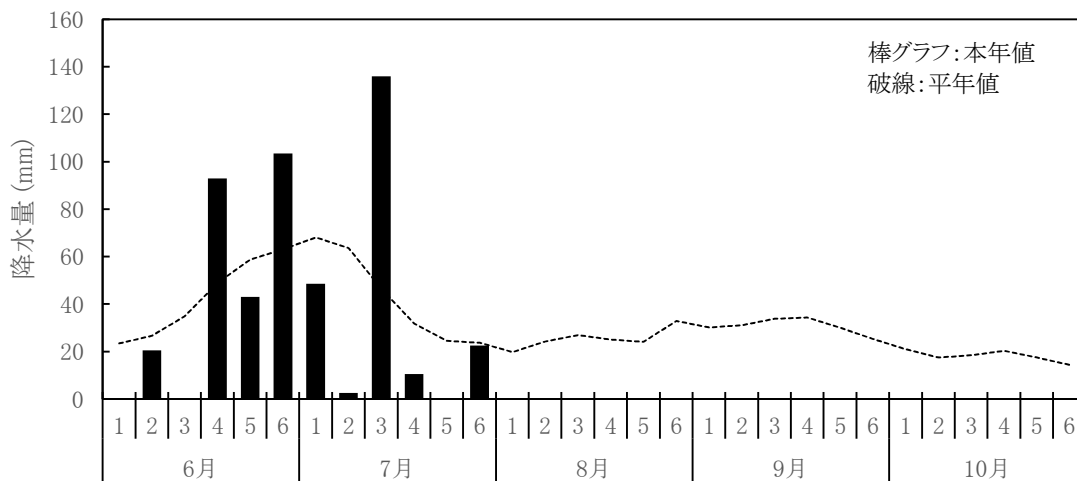
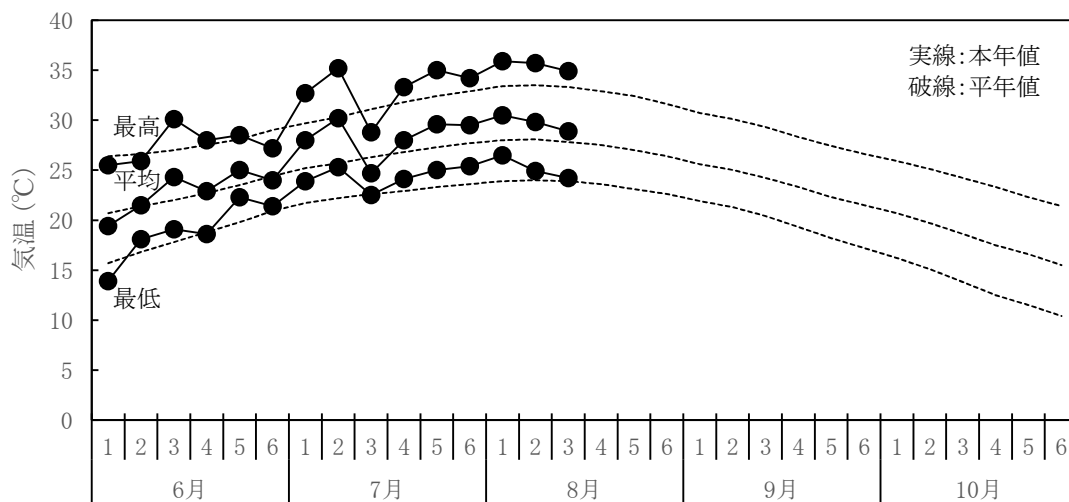
「つや姫」の生育推移



「なつほのか」の生育推移



「ヒノヒカリ」の生育推移



令和 6 年度夏作期間気象図 (宇佐市、標高 30 m)

*平年値は 1994~2023 年の 30 カ年の平均値を示す。